

授業実践の記録

5年 特別の教科道徳

「伝えたい思い～南三陸から熊本へ～」熊本地震関連教材「つなぐ」

- ・ 東日本大震災・熊本地震の写真を提示して、地震の被害について知る
- ・ 「東日本大震災で東京の先生方からもらったバトンを、熊本にわたすことができた」とは、どのようなことを考える
- ・ 「中松先生のように、笑顔を大切にしていきたい。」「復興の支援をしたい。」「自分にできることを手伝いたい。」などの感想を伝え合う

授業の様子



東日本大震災・熊本地震の様子の画像を見て、地震の被害について知る

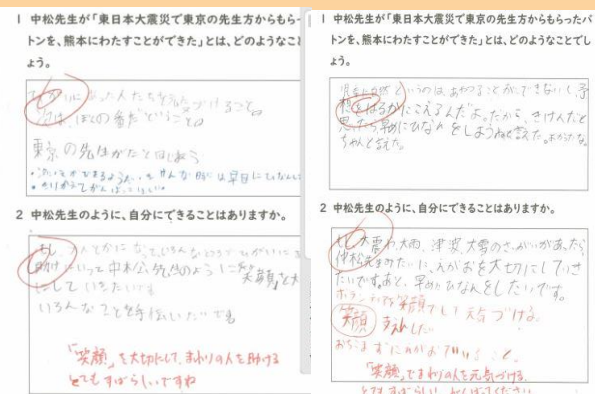
熊本地震と5年前の豪雨災害について重ねて考える

書き終えた子供たちは、他の児童と交流を行う。他の子供の意見で、納得した考えについては、色鉛筆で書き加える。

【本時のねらい】

「私たちの生活は、多くの人々の支えや助けによって成り立っていることに気付き、そのことを応援しようとする心情を育てる」

※ 中松先生の気持ちを考えることにより、自分は何ができるかを考えることができた。中松先生が「笑顔」を大切にされたことから、笑顔で人の支えになりたい、笑顔でボランティアをしたいなどの感想をもつことができた。



〈参考資料・教材等〉

熊本地震関連教材『つなぐ』活用事例集 東日本大震災・熊本地震の画像